

2024 年 9 月 21 日時点  
日本代表プロジェクト推進委員会

## 日本代表活動ガイドライン

### 【はじめに】

公益社団法人日本ラクロス協会（以下、JLA）は会員によって構成されている組織（社団法人）であり、事業の大部分は会費によって運営されています。日本代表活動も同様です。各事業は一人ひとりの会員によって支えられており、事業毎の優劣はありません。日本代表活動にはもちろん注力をするものの、全てを差し置いて特別扱いをする訳ではありません。

また、多くの選手が、一般社会の中で働きながらトップアスリートとしてのデュアルキャリアを形成しており、それが現在の日本ラクロスの価値を高めています。そのため、個々の選手の活動を増やすことにも制限があり、各代表の活動ボリュームを端的に増やすことは難しく、日本代表の価値を損なう可能性もあります。

以上を踏まえて、活動期間、および、練習・合宿といった活動の頻度、回数について水準を設けるべく、本ガイドラインを定めています。

### 【目標設定】

NPC が代表毎に目標を設定する。

### 【活動期間】

- ・フル代表（世界選手権）：世界大会開催年の前年 1 月～世界大会終了まで  
↳World Games も含め SIXES 代表はフル代表の活動の一環として行う。
- ・フル代表（大陸予選）：大陸予選開催年の 1 月から大陸予選終了まで
- ・U20 代表：U20 世界大会開催年の 1 月～U20 世界大会終了まで

### 【主な活動時期（共通）】

- ・原則 1 月～7 月とし、各大会日程を踏まえて調整する。

### 【活動日・活動時間（共通）】

- ・練習会は 1 回あたり週末 2 日間（祝日は含まず）で実施。1 日あたり最大 4 時間。  
※ 練習時間には、全体でのトレーニングやアップ時間も含まれる。フィールド外の会議室やオンラインを用いたミーティングは含まれない。

※ 合宿（最大2泊3日）は年1回までとし、練習会1回分としてカウントする。

※ 海外遠征の実施有無および内容は、代表毎にNPCが定める。

#### 【活動頻度】

- ・フル代表（世界選手権）：練習会2回（2週末）/月

※ SIXES 代表活動時は SIXES 向け練習として1日あたり1時間の追加を認める。

- ・フル代表（大陸予選）：練習会1回（1週末）/月
- ・U20 代表：練習会1回（1週末）/月

#### 【各代表の方針について】

- ・各代表において、ヘッドコーチ（以下、HC）は「方針」（選考プロセス、選考基準、チームスローガン等）を透明性高く設定すること。
- ・説明を求められたときに対応できるようにすること。

#### 【代表 HC 選考の基本方針】

HC の選考は、競技実績、指導経験、指導者資格の有無、懲罰の有無、諸規程遵守等を踏まえ、また、以下要素も加味し、総合的に判断される。

- ① 本ガイドラインおよび「日本代表選考に関する規程」を十分に理解していること。
- ② 大会毎に設定された目標を達成するための戦略・方針を策定可能な資質を有すること。
- ③ 社会規範と共に、JLA が定めるコンプライアンスに関連した諸規程に則ること。
- ④ その他、公募時等に示される要件を満たすこと。

※2025 年 4 月以降、HC 候補対象は原則として S 級指導者となります。

#### 【代表選手選考の基本方針】

各代表の選考は「日本代表選考に関する規程」を踏まえ、HC が定めた「方針」に従う。  
なお、選考プロセスにおいては、原則以下の通りとする。

- ① JLA の全ての会員が選考対象となるよう、オープントライアウトを原則実施する。
- ② オープントライアウト後の怪我による一時離脱を除き、辞退等に伴う追加招集、追加選考は HC から NPC に随時相談の上、実施できる。

#### [補足 1] 海外在住選手の選考について：

- ・ビデオ選考とオンライン面談を経て練習会に招聘し、最終選考前に 2 回の練習会参加を必須とし、最終判断は NPC に相談の上、決定する。
- ・代表（世代別含む）経験者については、ビデオ選考とオンライン面談にて本大会直前からの合流を認めることができる。

[補足 2] 各代表における招集特例・制限について：

- ・フル代表（世界選手権）：前回大会代表 および 本大会直前の大陸予選代表はオープントライアウトを免除される。U20 代表からの招集については、HC が求める場合、オープントライアウトを免除することができる。追加招集トライアウトを原則 1 回以上実施する。追加招集トライアウトには、それまでの落選者も参加可能とする。
- ・フル代表（大陸予選）：原則、世界選手権出場経験の無い選手を対象とする。U20 代表から招集する場合は、U20 世界大会終了後からとする。
- ・U20 代表：World Lacrosse(以下、WL)が定める対象期間の選手を対象とする。

**【チームスタッフについて】**

現時点における WL の定めでは、各代表チームは最低限、HC、チームマネージャー、メディカルスタッフの 3 名の設置が義務付けられ、更に最大 5 名までのチームスタッフを加えた最大 8 名が本大会遠征スタッフとなる。別途、広報スタッフ 1 名が本大会遠征スタッフに、大会メディア扱いで帯同する。

日本代表において、HC はフィールド内のチーム強化に原則専念するものとし、フィールド外の運営（広報含む）統括責任者としてゼネラルマネージャー（以下、GM）を各代表に設置する。HC と GM は上下関係ではなく、役割と責任を分担し、連携してチームを強化する。

メディカルスタッフについては、メディカルドクター（臨床医師）である必要はなく、専門職能のあるトレーナー（以下 TR）を最低 1 名、最大 2 名まで規定に従い採用する。

国内活動においては、必要に応じて追加のサポートコーチ/スタッフを設置できるが、遠征帯同することはできない。

**※追加スタッフに関する補足説明：**

各代表において、国内活動メインでサポートスタッフを持つ場合は、公募にて必要な人材を確保する。なお、サポートスタッフは正規スタッフとして扱われないため、国内活動においても交通費等の支給対象外となる。人数の制限はないが、本大会に帯同できないため、本番を意識し、遠征スタッフのみで原則対応できる体制を整えることに注力し、その上で練習会の効率を最大化するための人数設定とする。また、練習会参加の都度、業務内容を説明するのは非効率であるため、原則としてチームの全活動期間に参加できる人を採用すること。

**【HC 以外のスタッフ選考の基本方針】**

[GM：1 名（必須）]

- ・ HC がフィールド外の運営全般を任せられる人材を確保している場合、HC の推薦により採用し、NPC が理事会に報告する。(人材の目処がない場合、HC は NPC に相談可能。)

[TR : 1 名以上 (1 名は必須) ]

- ・ 基本的には HC もしくは GM にて採用する。

[AC : 原則 3 名]

- ・ HC が自身の戦略に合わせて採用する。
- ・ 国際ルールによりコーチボックスに入れる人数が 4 名のため、原則 3 名までとする。
- ・ 3 名を超えて追加したい場合は、他の遠征スタッフの人数を減らすか、国内活動限定のサポートスタッフとして配置することを検討する。

[MG : 1 名以上 (1 名は必須) ]

- ・ GM の役割は多岐に渡り、現場不在となることがあるため 1 名必須とする。

[その他スタッフ]

- ・ アナライジングスタッフ等の採用は、上述の範囲で HC と NPC で都度協議する。

※本大会に帯同する広報スタッフ 1 名については NPC が公募し、広報部、マーケティング委員会と相談した上で決定する。

**【他】**

- ・ 本ガイドラインは NPC が作成・管理し、改廃については理事会の承認を必要とする。
- ・ 本ガイドラインは世界のラクロスの環境変化とともに、適宜更新する可能性があるため、必ず最新版を確認すること。

以上